

海洋理工学会平成22年度秋季大会プログラム

10月12日(火)

学会賞受賞記念講演

- 10:00-10:30 H1 [堀田記念奨励賞] 回転運動がもたらす慣性航法誤差の軽減効果
石橋正二郎 (JAMSTEC)
- 10:30-11:00 H2 [堀田記念奨励賞] 海洋における TBT の分解生成物に関するモデル開発
市川哲也 (SAT)
- 11:00-11:30 H3 [論文賞] Large Volume in situ Filtration and Concentration System for Measurements of
Low-level Radioactivity in Seawater 青野辰雄 (NIRS)
- 11:30-12:00 H4 [業績賞] 海洋情報モニタリングシステム - Sea Mailer System -
保坂美行 (リーフ)

12:00-13:00 昼休み

シンポジウム 「鉄を利用した沿岸海域環境修復の現状と展望」

- 13:00-13:10 主旨説明 笠原 勉 (いであ)
- 第1部：鉄を利用した海洋環境修復の基礎 座長：鈴木輝明 (名城大)
- 13:10-13:40 S1 沿岸海域における腐植酸鉄の役割と溶存有機物のキャラクタリゼーション
福嶋正巳 (北海道大)
- 13:40-14:10 S2 腐植酸鉄供給の環境受容性と流域環境評価 駒井 武 (産総研)
- 14:10-14:40 S3 沿岸海洋環境保全と藻場再生技術 - 沿岸生態系モデルによる森・川・海のつながり
と海洋環境の評価 - 山本光夫 (東京大)
- 14:40-15:10 S4 製鋼スラグの安全性と水産業界への利用展望 - 製鋼スラグの海生生物への安全性試
験と今後の利用展望 - 原 武史 (全国水産技術者協会)
- 15:10-15:30 休憩
- 第2部：鉄を利用した海洋環境修復への取り組み 座長：笠原 勉 (いであ)
- 15:30-15:55 S5 転炉系製鋼スラグを用いた海域環境修復技術 中川雅夫 (新日本製鐵)
- 15:55-16:20 S6 ダム湖底に堆積した腐植物質のキャラクタリゼーションとその有効利用に関する研
究 - ダム湖底に堆積した腐食物質の現状とその有効活用 - 堀家茂一 (ICG・グリーン)
- 16:20-16:45 S7 川崎市における製鋼スラグによる藻場造成事業と環境技術実証事業
- 経済産業省の低炭素社会実証モデル事業の成果と環境省の環境技術実証事業の紹介 -
戸澤宏一 (JFEスチール)
- 16:45-17:10 S8 製鋼スラグの深堀埋め戻し適用時の海域環境改善予測 畑 恭子 (いであ)
- 17:10-18:00 総合討論

18:30-20:30 イブニングセッション (芝蘭会館)

藤縄幸雄先生の[顕功賞]受賞記念講演は、平成23年度春季大会にて実施予定です。

10月13日(水)

10:00-12:00 一般講演 1「鉄鋼スラグ・海洋モデル」 座長 堀口文男(産総研)

A01. ノリの生育に対するスラグ系施肥材の効果実証実験

植木知佳、加藤敏朗、三木 理(新日本製鐵)

A02. 鉄鋼スラグ混合による海域有機泥の改善-1. 硫化物濃度抑制とビオトープ形成

山本民次、原田啓太(広大院生物圏科学)

A03. 鉄鋼スラグ混合による海域有機泥の改善-2. 数値モデルによるリン循環変化の評価

山本民次、原田啓太(広大院生物圏科学)

A04. 全球生態系モデルを用いた鉄と一次生産との関係について

林 正能、中田喜三郎(東海大海洋)

A05. プランクトンを細分化した新しいモデルによる円石藻の現存量、および CaCO_3 沈降フラックス
評価の試み

茂木博匡、中田喜三郎(東海大海洋)

A06. 海底からの漏出(気体・液体)モデルについて

石原靖文(JANUS)

12:00-13:00 昼休み

13:00-13:40 ポスターセッション・機器展示

P01. Performance of UDP communication in Web Direct-Access Model. Ken Ishii (NRIFE)

P02. 全球生態系モデルを用いた鉄と一次生産との関係について

林 正能、中田喜三郎(東海大海洋)

P03. 東太平洋赤道域における海水中 CO_2 分圧の変動に関する研究

山崎淳市、秋山正寿(東海大海洋)

P04. ディープ・トウの機能向上

林 央之、宗 輝、森 尚仁、白石健太郎、杉山智彦、住永 圭(MWJ)

13:40-15:20 一般講演 2「機器開発」 座長 秋葉龍郎(産総研)

A07. 宗谷暖流の流速の短周期変動の下流方向への伝播

江淵直人、深町 康、大島慶一郎(北大低温研)

A08. Ethernet Interface of the Electronic Track Flatcar

Ken Ishii and Yoshimi Takao(NRIFE)

A09. 超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)を利用した作業型自律探査機ハイビジョン映像
の伝送実験結果について

富井直弥、鈴木智美、小川恵美子(JAXA)、
吉田 弘、石橋正二郎、百留忠洋(JAMSTEC)

A10. 短波長レーザーの海中伝搬特性

吉田 弘、石橋正二郎(JAMSTEC)、齋藤 隆、岡本章吾(三菱特機)

A11. 富士蒲原沖の極浅海域における高分解能 3D 音波探査実験 - 小型船舶を利用した蒲原沖断層探
査報告(序報) -

古谷昌明(総合地質調査)、馬場久紀(東海大海洋)、
丸山かおる、武田伸勝、畑山一人、佐藤正良、村上文敏(総合地質調査)

15:20-15:30 休憩

15:30-16:30 一般講演 3「プランクトン計測」 座長 千賀 康弘（東海大海洋）

A12. 多波長蛍光光度計を用いた赤潮プランクトンの定量

西林健一郎(いであ)、堀内智啓(JFE アドバンテック)、原田 洋一(Ides)

A13. 衛星分光画像を用いた水質の異なる水域での Chl-a 濃度推定アルゴリズム

松井佑介、青山隆司（福井工大）

A14. 分光反射率計測による北潟湖の主要成分抽出

青山隆司、安部礼恵（福井工大）